

第IV部 調査票と単純集計結果



## 調査票と単純集計結果

調査期間 令和7年10月24日～11月18日  
標本設計数 4,000 有効回収数(率) 1,698 (42.5%)  
※「n」は、質問に対する回答者の総数を表す。  
「-」は、回答者が皆無であることを示す。  
※ 比率(%)の数値は小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならないことがある。

# 令和7年度(2025年)神奈川県『県民ニーズ調査』(第2回課題調査) 調査票

この調査は、県民の皆様のご意見やお考えをお聴きし、今後の県の施策を検討する基礎資料とするものです。日ごろのお考えを率直にお聴かせください。



### 【テーマ】

- |                           |                     |
|---------------------------|---------------------|
| 1 かながわの文化芸術               | 8 循環器病対策            |
| 2 伝統的工芸品                  | 9 依存症に対する意識         |
| 3 2027年国際園芸博覧会            | 10 かながわの人権          |
| 4 脱炭素・環境                  | 11 配偶者等からの暴力        |
| 5 生物多様性                   | 12 犯罪被害者等への支援       |
| 6 「未病改善」の取組み              | 13 生活に不安や課題がある人への支援 |
| 7 かながわ救急相談センター<br>(#7119) | 14 インクルーシブ教育        |
|                           | 15 かながわの広報          |

### ◆ 記入上の留意事項

- この調査のご回答は、**封筒のあて名のご本人様**にお願いいたします。
- この調査は無記名式です。お名前やご住所の**記入は不要**です。
- お答えは、直接、この調査票の**あてはまる番号を○**で囲んでください。
- ご記入いただく筆記用具の種類や色の指定はありません。
- 分かる質問だけお答えいただければ結構です。

ご記入いただいた調査票は、同封の**返送用封筒**に入れ、  
**11月18日(火)まで**にご投函ください。  
(切手の貼り付け、お名前やご住所の記入は不要です)



※インターネットからもご回答いただけます！  
(左記二次元コードから回答画面へ)

インターネットからご回答された方は、調査票の郵送は不要です。

【お問い合わせ先】 神奈川県 政策局 政策部 情報公開広聴課 広聴グループ

○ お問い合わせフォーム



二次元コードから送信

※11月18日まで受付

○ 電話 (045)210-3672

※ 受付時間 月～金 8:30～17:15  
(12:00～13:00を除く/土日祝日は閉庁)

# 1 かながわの文化芸術

問1 この1年間で文化芸術を鑑賞、または、文化芸術活動に参加※した日数はどのくらいになりますか。  
(○は1つ) (n=1,698) (%)

1 週に5日以上	0.2	6 年に2～3日程度	24.1
2 週に2～4日程度	1.0	7 年に1日程度	12.8
3 週に1日程度	2.1	8 まったくない	31.4
4 月に1～3日程度	8.7	9 分からない	1.3
5 3か月に1～2日程度	16.0		(無回答 2.5)

※ ここでいう鑑賞とは、コンサートや美術展、映画、歴史的な文化財、アートや音楽のフェスティバルなどの文化芸術イベントを楽しみ、味わうことをいい、活動に参加とはそれ以外のことをいいます。

問2 ホールなどの文化施設での公演や展覧会へ行ってみたいと思うジャンルは、次のうちどれですか。  
(○はいくつでも) (n=1,698) (%)

1 伝統文化(民謡、三味線、歌舞伎、能など)	20.3	6 文学(詩、俳句、短歌、小説など)	4.5
2 演芸(落語、講談、漫才、浪曲など)	23.1	7 美術(絵画、彫刻、工芸、陶芸、写真など)	43.9
3 生活文化(生け花、盆栽、書道など)	11.0	8 映像作品(映画、アニメ、CGなど)	54.9
4 音楽(歌謡曲、ポップス、クラシックなど)	57.4	9 その他	1.2
5 演劇・舞踊(ミュージカル、バレエなど)	38.6	10 行ってみたいとは思わない	7.7
			(無回答 2.2)

問3 文化芸術活動に参加※してみたいと思うジャンルは、次のうちどれですか。  
(○はいくつでも) (n=1,698) (%)

1 伝統文化(民謡、三味線、歌舞伎、能など)	5.7	6 文学(詩、俳句、短歌、小説など)	5.0
2 演芸(落語、講談、漫才、浪曲など)	3.5	7 美術(絵画、彫刻、工芸、陶芸、写真など)	26.0
3 生活文化(生け花、盆栽、書道など)	15.1	8 映像作品(映画、アニメ、CGなど)	9.8
4 音楽(歌謡曲、ポップス、クラシックなど)	18.5	9 その他	1.2
5 演劇・舞踊(ミュージカル、バレエなど)	8.0	10 してみたいとは思わない	43.7
			(無回答 3.4)

※ ここでいう参加とは、自身で創作、発表することに限り、鑑賞や読書を含みません。

## 2 伝統的工芸品

問4 県の伝統的工芸品のうち、知っているものを選んでください。(〇は3つまで) (n=1,698) (%)

1 鎌倉彫	62.8	3 小田原漆器	15.4
2 箱根寄木細工	83.9	4 どれも知らなかった	9.5
(無回答 2.7)			

### 【問4で1～3を選んだ方へ】

問4-1 鎌倉彫、箱根寄木細工、小田原漆器などの伝統的工芸品に、どのようなイメージがありますか。(〇は3つまで) (n=1,491) (%)

1 文化や歴史がある	77.1	6 値段が高い	35.4
2 品質が良い	39.2	7 実用的ではない	11.7
3 個性がある	29.2	8 あまり身近なものではない	21.7
4 使い勝手が良い	1.6	9 その他	0.7
5 生活の質を向上させてくれる	7.8	10 特にない、分からない	1.5
(無回答 2.8)			

### 【全員の方がお答えください】

問5 鎌倉彫、箱根寄木細工、小田原漆器などの伝統的工芸品を、今後、購入したいと思いますか。(〇は1つ) (n=1,698) (%)

1 ぜひ購入したいと思う	2.0	4 あまり購入したいと思わない	18.6
2 機会があれば購入したいと思う	36.8	5 購入したいと思わない	16.9
3 どちらともいえない	23.1	(無回答 2.5)	

### 【問5で1、2を選んだ方へ】

問5-1 購入するとしたら、何のためですか。(〇は3つまで) (n=659) (%)

1 普段づかいのため	48.9	4 お土産として	37.6
2 観賞・飾りのため	44.0	5 その他	0.9
3 贈りものとして	34.9	6 特にない、分からない	0.3
(無回答 0.3)			

### 3 2027年国際園芸博覧会

問6 2027年3月から9月に横浜市で「国際園芸博覧会（正式略称：GREEN×EXPO 2027※）」が開催されることを知っていますか。（○は1つ）（n=1,698）（%）

1 知っている	51.0	3 知らなかった	38.0
2 言葉は聞いたことがある	10.1		（無回答 0.8）

※ GREEN×EXPO 2027 とは、横浜市で開催される、1都3県初の万国博覧会のことをいいます。日本での最上位クラスの国際園芸博覧会の開催は1990年「大阪花の万博」以来37年ぶり2回目となります。

#### 【問6で1、2を選んだ方へ】

問6-1 GREEN×EXPO 2027を知ったきっかけは何ですか。（○はいくつでも）（n=1,038）（%）

1 チラシ・パンフレット	24.6	7 イベント	3.9
2 ポスター・看板・横断幕など	53.1	8 植物園・公園など	7.0
3 SNS（X（旧Twitter）、Facebook、Instagramなど）	8.3	9 家族や知人などから聞いた	12.2
4 ウェブサイト（ホームページなど）	9.2	10 その他	8.2
5 広報誌（県のたよりなど）	32.5	11 分からない、覚えていない	1.0
6 テレビ・ラジオ	21.7		（無回答 -）

#### 【全員の方がお答えください】

問7 GREEN×EXPO 2027に何を期待しますか。（○は3つまで）（n=1,698）（%）

1 世界中から集まった植物が見られること	44.6
2 農地や里山など日本の昔ながらの風景	16.4
3 農業や花だん作りなどの体験企画への参加	9.5
4 地元でとれた産物や食を楽しむ市場	39.3
5 花と緑あふれる庭などの展示	42.5
6 生物多様性や脱炭素の取組みについての展示	13.3
7 仮想現実※やロボットなど最新技術の展示	13.6
8 ボランティア参加	1.8
9 その他	1.7
10 特になし	17.9

（無回答 2.8）

※ 仮想現実とは、コンピューターの中に作られた仮想的な世界を、あたかも現実のように体験できる技術のことをいいます。

## 4 脱炭素・環境

問8 今後、県には環境に関するどのような取組みに対して、特に力を入れてほしいですか。

(〇はいくつでも) (n=1,698) (%)

1 脱炭素化※など地球温暖化を防ぐための取組み	54.0	6 環境教育に関する取組み	29.6
2 自然環境や生物多様性の保全のための取組み	51.7	7 その他	2.2
3 廃棄物対策など資源循環のための取組み	56.4	8 特にない、分からない	5.7
4 大気環境保全のための取組み	35.9		
5 水質や水辺の環境保全のための取組み	56.8		(無回答 0.9)

※ 脱炭素化とは、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出を実質的にゼロにすることをいいます。

問9 省エネや再エネ※の導入など、脱炭素を意識した取組みを行っていますか。

(〇は1つ) (n=1,698) (%)

1 すでに行っている	24.3	4 あまり関心がなく行う予定もない	8.0
2 今後行う予定である	3.7	5 全く関心がない	4.6
3 関心はあるが行ってはいない	58.4		(無回答 1.1)

※ 再エネとは、「再生可能エネルギー」の略称で、太陽光・風力・水力・地熱・バイオマスなどから作られ、資源を枯渇させずに繰り返し使うことができ、発電や熱利用をするときに地球温暖化の原因となる二酸化炭素をほとんど出さないエネルギーのことをいいます。

問10 家で使用する電力について、再エネ由来の電力を使用※したいと思いませんか。

(〇は1つ) (n=1,698) (%)

1 すでに使用している	7.9	4 使用したいと思わない	9.7
2 電気代が今よりもかかっても使用したい	1.9	5 分からない	13.6
3 電気代が今と同じか、それ以下であれば使用したい	65.8		(無回答 1.1)

※ 再エネ由来の電力の使用とは、自宅やマンションの屋根などに太陽光発電設備を設置し、その電力を使っている、または電力会社が用意している再生可能エネルギープランを契約していることをいいます。

問11 「気候変動への適応」※に関心がありますか。

(〇は1つ) (n=1,698) (%)

1 関心がある	51.1	4 関心がない	2.4
2 どちらかといえば関心がある	36.8	5 分からない	4.7
3 どちらかといえば関心がない	4.4		(無回答 0.6)

※ 気候変動への適応とは、地球温暖化を主要因とした気温上昇や大雨の増加などによる健康被害や自然災害などの影響を防いだり減らしたりすること(例:災害への備え、熱中症予防など)をいいます。地球温暖化が進むと、これらの影響は更に大きくなる恐れがあります。

## 5 生物多様性

問 12 「生物多様性」※の言葉の意味を知っていますか。 (○は1つ) (n=1,698) (%)

1 知っている	39.7	3 知らなかった	21.7
2 言葉は聞いたことがある	35.9		(無回答 2.7)

※ **生物多様性**とは、様々な自然が存在し、そこに住む様々な生きものたちに個性があり、お互いに関わりを持っていることをいいます。

問 13 生物多様性を保全するために日頃から心がけていること、実践していることはありますか。

(○はいくつでも) (n=1,698) (%)

1 生態系に配慮した農畜水産物(※1)を買う	18.4		
2 生物多様性保全に取り組む企業(※2)の製品を買う	12.8		
3 身近な自然を生物多様性の視点で考える	26.8		
4 生物多様性に関する記事や広告に目を留める	23.1		
5 生物多様性を保全する活動に参加する	2.1		
6 家族や友人と生物多様性保全の話をする	4.8		
7 その他	0.9		
8 特にない	44.2		(無回答 3.4)

※1 **生態系に配慮した農畜水産物**とは、環境保全型農業や有機畜産により生産された農畜産物、持続可能な漁業による水産物のことをいいます。例えば、有機JAS認証やエコファーマーマーク、海のエコラベルがついた製品が挙げられます。

※2 **生物多様性保全に取り組む企業**とは、製品製造時に環境負荷軽減に配慮したり、清掃や植林などの保全活動を継続して実施したりしている企業のことをいいます。

問 14 お住いの周辺地域の自然環境は、おおよそ3年前と比べてどのような変化があったと感ずるか。 (○は1つ) (n=1,698) (%)

1 豊かになった	0.9	4 どちらかといえば劣化した	21.7
2 どちらかといえば豊かになった	5.0	5 劣化した	9.0
3 変化はない	50.3	6 分からない	10.8
			(無回答 2.3)

## 6 「未病改善」の取組み

問 15 「未病（ME-BYO）」※の言葉の意味を知っていますか。 (○は1つ) (n=1,698) (%)

1 知っている	31.4	3 知らなかった	37.6
2 言葉は聞いたことがある	28.3		(無回答 2.7)

※ **未病**とは、健康と病気を「二分論」の概念で捉えるのではなく、心身の状態は健康と病気の間を連続的に変化するものと捉え、すべての変化の過程を表す概念のことをいいます。

問 16 過去1年間で「未病改善」※の取組み（バランスの良い食事、運動、人との交流など）を以前と比べて行うようになったと思いますか。 (○は1つ) (n=1,698) (%)

1 もともと行っており、今も行っている	27.3	
2 以前ほどではないが、少しずつ行っている	17.7	
3 以前は行っていなかったが、行うようになった	8.7	
4 以前は行っていなかったが、少しずつ行うようになった	16.2	
5 以前は行っていたが、まったく行わなくなった	2.4	
6 以前から行っておらず、今も行っていない	25.1	(無回答 2.6)

※ **未病改善**とは、心身の状態の変化の中で、特定の疾患の予防にとどまらず、心身をより健康な状態に近づけていくことをいいます。県では「食」「運動」「社会参加」を基本に、「未病改善」の取組みを進めています。

問 17 「未病改善」の取組み（バランスの良い食事、運動、人との交流など）をするにあたって必要だと思うものは何ですか。 (○は3つまで) (n=1,698) (%)

1 医師など、専門家からの健康状態に関するアドバイス	37.4	
2 健康に良い食材や調理方法など、食に関する情報	47.6	
3 ボランティア募集など社会参加できる情報や相談窓口	4.4	
4 スポーツセンターなど、気軽に運動ができる施設	41.4	
5 家族、友人など、一緒に健康に良い行動ができる仲間	31.0	
6 健康状態を気軽に知ることができる施設やイベント	26.0	
7 民間企業が提供する健康関連の商品サービス	4.3	
8 将来（10～20年後）の自分に起こりうる健康リスクを知ること	24.5	
9 その他	2.1	
10 特になし	2.9	
11 分からない	4.3	(無回答 3.7)

問 18 「フレイル」※という言葉を知っていますか。 (○は1つ) (n=1,698) (%)

1 知っている	32.7	3 知らなかった	45.1
2 言葉は聞いたことがある	18.8		(無回答 3.4)

※ **フレイル**とは、高齢になって心身の活力（筋力、認知機能、社会とのつながりなど）が低下した状態のことをいい、多くの人々が健康な状態からこのフレイルの段階を経て、要介護状態になると考えられています。

## 7 かながわ救急相談センター（#7119）

問 19 かながわ救急相談センター（#7119）※を知っていますか。 （○は1つ）（n=1,698）（%）

1 知っている	36.7	3 知らなかった	39.5
2 言葉は聞いたことがある	23.3		（無回答 0.5）

※ かながわ救急相談センター（#7119）とは、急な病気やケガをして、「救急車を呼んだ方がいいのか」、「今すぐ病院に行った方がいいのか」などで迷ったときに、電話でアドバイスを受けることができる電話相談窓口のことをいいます。

## 8 循環器病対策

問 20 脳卒中の主な初期症状について、知っているものを選んでください。

（○はいくつでも）（n=1,698）（%）

1 顔の片側がゆがむ	52.2	3 ろれつが回らない	89.2
2 左右いずれかの腕に力が入らない	52.0	4 どれも知らなかった	8.7
			（無回答 0.7）

問 21 脳卒中は、発症後すぐに救急車を呼ぶなど、医療機関で適切な治療を行えば、後遺症を含めたその後の状態が改善される可能性が高まることを知っていますか。 （○は1つ）（n=1,698）（%）

1 知っている	86.8	2 知らなかった	12.3	（無回答 0.9）
---------	------	----------	------	-----------

問 22 心臓病は、ひとたび発症すると再発率が高いという特徴があります。再発を防ぐためには、治療後の適度な運動療法を中心としたリハビリテーションが重要であることを知っていますか。

（○は1つ）（n=1,698）（%）

1 知っている	53.8	2 知らなかった	45.5	（無回答 0.8）
---------	------	----------	------	-----------

## 9 依存症に対する意識

問 23 依存症※について、あてはまると思うことを選んでください。(○はいくつでも) (n=1,698) (%)

1 誰でもなる可能性がある	83.3	7 その他	0.2
2 意志が弱いことが原因でなるわけではない	33.0	8 分からない	1.9
3 やめたくても、やめられなくなる病気である	77.5	9 あてはまるものはない	1.2
4 回復することはできるが時間がかかる	59.5		
5 依存症の本人が依存症であることを認めない	41.9	(無回答	0.9)
6 依存対象が生活の最優先事項になる	32.3		

※ 依存症とは、アルコールや薬物など、特定の物質を摂取することや、ギャンブルやゲーム、インターネットなど、特定の行動にのめり込み、心やからだ、社会生活に問題が出ることをいいます。

問 24 依存症について、相談できる場所として知っているものを選んでください。

(○はいくつでも) (n=1,698) (%)

1 依存症専門医療機関・専門クリニック	63.3		
2 かかりつけ医 (内科医など)	32.0		
3 行政機関 (精神保健福祉センター、保健所など)	28.9		
4 回復支援施設 (依存症回復のための通所・入所施設)	32.8		
5 当事者や家族などの自助グループ	21.7		
6 弁護士・司法書士	1.7		
7 その他	0.2		
8 分からない	13.4		
9 知っているものはない	6.8	(無回答	1.3)

### 【問 24 で 1～7 を選んだ方へ】

問 24-1 相談できる場所を知ったきっかけを選んでください。(○はいくつでも) (n=1,333) (%)

1 ポスター・チラシ	14.9	7 家族・知人から	11.0
2 県・市町村の広報誌 (県のたよりなど)	22.4	8 職場・学校	9.9
3 医療機関・行政機関などのホームページ	20.4	9 その他	2.3
4 テレビ・新聞などのマスメディア	50.4	10 分からない、覚えていない	7.8
5 ソーシャルメディア (※1)	15.4		
6 電車内・街中のデジタル広告 (※2)	6.2	(無回答	2.7)

※1 ソーシャルメディアとは、例えばX (旧 Twitter)、Facebook、Instagram などがあります。

※2 デジタル広告とは、電車のドア上や網棚上の液晶ディスプレイ、街中のデジタルサイネージなどを使った広告のことをいいます。

## 10 かながわの人権

問 25 今の日本は基本的人権が尊重されている社会だと思いますか。 (○は1つ) (n=1,698) (%)

1 そう思う	34.4	3 そう思わない	10.3
2 どちらともいえない	51.9	(無回答)	3.4

問 26 普段身近に感じている、または最近気になっている人権課題は何ですか。

(○はいくつでも) (n=1,698) (%)

1 子どもの人権	33.9	8 貧困(※2)などによる人権問題	28.7
2 女性の人権	30.9	9 犯罪被害者などの人権	22.6
3 障がい者の人権	31.8	10 拉致被害者の人権	16.0
4 高齢者の人権	26.1	11 性的マイノリティの人権	19.1
5 医療従事者・患者などの人権	20.9	12 インターネットにおける人権問題	38.4
6 同和問題(部落差別)(※1)	5.5	13 その他	2.2
7 外国人の人権	17.3	14 特にない	9.2
		(無回答)	1.8

※1 同和問題(部落差別)とは、一部の人々が、特定の地域出身であることや、そこに住んでいることを理由に日常生活の上で様々な差別を受けるといった、わが国固有の人権課題のことをいいます。

※2 貧困とは、平均収入の半分以下の世帯であり、年齢に関係なく住む家がない状態に陥っている状態や、適切な支援につながらず、生活に困窮している状態のことをいいます。

問 27 人権課題を解消するために、力を入れて取り組む必要があると思うことは何ですか。

(○はいくつでも) (n=1,698) (%)

1 学校などにおける人権教育	60.2	6 差別的表現の規制・モニタリング	16.8
2 企業などにおける人権研修	35.7	7 国による法整備	44.8
3 広告やインターネットを活用した啓発活動	22.2	8 地方自治体による条例整備	28.9
4 相談体制の充実	31.2	9 その他	2.0
5 当事者を支援する取組みの充実	31.7	10 分からない	8.1
		(無回答)	1.5

## 11 配偶者等からの暴力

問 28 配偶者等からの暴力(DV)について、知っていたことを選んでください。

(○はいくつでも) (n=1,698) (%)

1 DV被害者相談窓口がある	79.9
2 DV被害者相談窓口は、男性向けもある	32.0
3 DV被害者は加害者から離れて自立生活するための支援や情報提供を受けることができる	58.2
4 子どもの前でDVが行われることは、子どもへの虐待となる	52.3
5 恋人同士の間で起こる暴力を「デートDV」という	30.9
6 どれも知らなかった	10.7
	(無回答) 1.8

## 12 犯罪被害者等への支援

問 29 犯罪被害者等の相談窓口のうち、知っているものを選んでください。

(○はいくつでも) (n=1,698) (%)

1	各警察署の住民相談係	46.3	
2	県警察の総合相談室 (#9110)	16.8	
3	かながわ犯罪被害者サポートステーション	5.2	
4	性被害者ワンストップ支援「かならいん」	2.7	
5	各市町村の犯罪被害者等相談窓口	14.4	
6	法テラスの犯罪被害者支援ダイヤル	11.8	
7	県弁護士会の犯罪被害者支援センター	4.4	
8	横浜地方検察庁の被害者ホットライン	1.6	
9	横浜保護観察所の被害者専用電話番号	0.8	
10	どれも知らなかった	41.8	(無回答 1.8)

問 30 近所や職場、親戚などの身近に、現在、犯罪被害にあっている 17 歳以下の子どもはいますか。

(○は1つ) (n=1,698) (%)

1	いると思う	9.4	3	分からない	43.6
2	いないと思う	46.2			(無回答 0.8)

子どもが被害者となりうる犯罪には殺人、暴行、恐喝、詐欺、窃盗、痴漢、交通事故など様々な種類がありますが、これらの他にも、家庭や学校の中だけの問題とされがちな虐待、いじめも含まれます。また、子どもに性的画像（児童ポルノ）を撮影するよう要求したり、拡散したりすることも犯罪です。

問 31 犯罪被害にあっている子どもを早期発見するために効果的だと思う取組みは何ですか。

(○はいくつでも) (n=1,698) (%)

1	子どもが自ら被害を相談できるしくみづくり	72.0	
2	子どもへの人権教育など	37.7	
3	被害後の対応についての保護者への周知	30.9	
4	子どもに接する仕事に就く人への研修	46.1	
5	身近な大人が通報・通告する必要性の周知	60.7	
6	自治体職員や警察官などへの研修	22.5	
7	子どもの犯罪被害者についての理解の促進	31.7	
8	相談窓口のいっそうの周知	32.1	
9	相談窓口間での情報共有など連携の強化	33.3	
10	その他	3.2	
11	特にない、分からない	4.7	(無回答 0.9)

## 13 生活に不安や課題がある人への支援

問 32 私たちのくらす社会では、生まれ育った環境にかかわらず誰もが夢や希望を持てると思いますか。 (〇は1つ) (n=1,698) (%)

1	そう思う	9.7	4	どちらかといえばそう思わない	19.0
2	どちらかといえばそう思う	21.3	5	そう思わない	18.7
3	どちらともいえない	25.3	6	分からない	4.7
(無回答 1.5)					

問 33 ひとり親家庭を、社会全体で支援できていると思いますか。 (〇は1つ) (n=1,698) (%)

1	そう思う	3.8	4	どちらかといえばそう思わない	24.4
2	どちらかといえばそう思う	15.5	5	そう思わない	16.1
3	どちらともいえない	27.6	6	分からない	11.1
(無回答 1.5)					

問 34 日々の生活に悩みや課題を抱える女性を、社会全体で支援できていると思いますか。 (〇は1つ) (n=1,698) (%)

1	そう思う	2.1	4	どちらかといえばそう思わない	27.0
2	どちらかといえばそう思う	10.1	5	そう思わない	20.9
3	どちらともいえない	26.4	6	分からない	12.0
(無回答 1.6)					

## 14 インクルーシブ教育

問 35 県のめざす「インクルーシブ教育」※を知っていますか。 (〇は1つ) (n=1,698) (%)

1	知っている	12.8	3	知らなかった	66.0
2	言葉は聞いたことがある	19.5	(無回答 1.6)		

※ インクルーシブ教育とは、共生社会の実現に向け、すべての子どもが、(障がい、国籍、性別などにかかわらず、) 同じ場でともに学びともに育つことをめざす取組みのことをいいます。

問 36 現在の学校はすべての子どもが学びやすいと思いますか。 (〇は1つ) (n=1,698) (%)

1	そう思う	2.9	4	そう思わない	16.9
2	どちらかといえばそう思う	21.3	5	分からない	31.2
3	どちらかといえばそう思わない	26.4	(無回答 1.3)		

問 37 すべての子どもが学べる学校づくりに、ボランティアなどで参加したいと思いますか。 (〇は1つ) (n=1,698) (%)

1	参加したい	6.2	4	参加したくない	20.6
2	どちらかといえば参加したい	22.5	5	分からない	34.6
3	どちらかといえば参加したくない	14.5	(無回答 1.6)		

## 15 かながわの広報

問 38 県は、災害や感染症対策などの取組み、イベントの実施など県政情報を伝えていると思いますか。  
(○は1つ) (n=1,698) (%)

1 伝えている	12.4	4 伝えていない	6.8
2 どちらかといえば伝えている	39.9	5 分からない	24.1
3 どちらかといえば伝えていない	15.0		(無回答 1.9)

問 39 県が県政情報を伝えている広報媒体について、知っているものを選んでください。  
(○はいくつでも) (n=1,698) (%)

1 県の広報紙「県のたより」	69.6	
2 県の公式 YouTube チャンネル「かなチャン TV」	3.7	
3 県の広報テレビ番組 (tvk「カナフル TV」)	11.6	
4 県の広報ラジオ番組 (FM 横浜「KANAGAWA Muffin」)	8.7	
5 県のホームページ	31.3	
6 県のソーシャルメディア※	7.5	
7 県が発行する冊子・パンフレット・チラシなど	19.7	
8 新聞での紙面広報	11.4	
9 フリーペーパー	4.6	
10 どれも知らなかった	14.7	(無回答 1.4)

※ ソーシャルメディアとは、例えば X (旧 Twitter)、Facebook、Instagram などがあります。

問 40 県政情報をどこから入手していますか。  
(○はいくつでも) (n=1,698) (%)

1 県の広報紙「県のたより」	59.7	
2 県の公式 YouTube チャンネル「かなチャン TV」	1.8	
3 県の広報テレビ番組 (tvk「カナフル TV」)	6.4	
4 県の広報ラジオ番組 (FM 横浜「KANAGAWA Muffin」)	5.5	
5 県のホームページ	19.5	
6 県のソーシャルメディア	6.0	
7 県が発行する冊子・パンフレット・チラシなど	13.4	
8 新聞での紙面広報	11.0	
9 フリーペーパー	3.8	
10 どこからも入手していない	22.9	(無回答 1.4)

…\*\*

最後に、集計結果を分析するために必要な項目についてお聞きします。(個人を特定するものではありません。)

F 1 お住まいの地域はどちらですか。 (n=1,698) (%)

1	横浜 (横浜市)	39.9
2	川崎 (川崎市)	14.2
3	相模原 (相模原市)	7.1
4	横須賀三浦 (横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町)	6.5
5	県央 (厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村)	10.4
6	湘南 (平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町、二宮町)	16.0
7	県西 (小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町)	4.4
		(無回答 1.5)

F 2 差し支えなければ、あなたの性別をお聞かせください。 (n=1,698) (%)

1	男性	41.4	2	女性	55.1	(無回答 3.5)
---	----	------	---	----	------	-----------

F 3 あなたの年齢は、おいくつですか。(2025年11月1日現在) (n=1,698) (%)

1	18~19歳	0.2	5	35~39歳	5.1	9	55~59歳	10.7	13	75~79歳	9.8
2	20~24歳	2.4	6	40~44歳	7.7	10	60~64歳	10.9	14	80歳以上	4.5
3	25~29歳	2.7	7	45~49歳	10.2	11	65~69歳	9.1			
4	30~34歳	4.8	8	50~54歳	13.2	12	70~74歳	7.1	(無回答 1.8)		

F 4 あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。あてはまるものをすべて選んでください。(同居、別居は問いません。) (n=1,698) (%)

1	小学校入学前	7.8	5	短大、専門学校等在学中	0.8	9	その他	2.4
2	小学校在学中	10.1	6	大学、大学院等在学中	7.5	10	子どもはいない	30.7
3	中学校在学中	6.7	7	学校教育終了 [未婚]	23.3			
4	高校在学中	7.9	8	学校教育終了 [既婚]	24.4	(無回答 2.4)		

F 5 現在のお宅の家族形態は、次のどれにあたりますか。 (n=1,698) (%)

1	一人暮らし (単身世帯)	14.6	4	祖父母と親と子の世帯 (3世代世帯)	3.5
2	夫婦のみ (1世代世帯)	27.5	5	その他の世帯	4.8
3	親と子の世帯 (2世代世帯)	47.4	(無回答 2.1)		

F 6 あなたの現在のお仕事は、次のどれにあたりますか。1～9の中から1つ選んでください。  
また、1～5を選んだ方は、右のア～ケの中から1つ選んでください。

(n=1,698) (%)

(n=1,068) (%)

1 自営業主 5.4	→	ア 農林水産業 0.4
2 家族従業者 (家業手伝い) 1.0		イ 商工サービス業(各種商店、飲食店、工事店などの経営) 4.9
3 勤め (フルタイム) 40.2	→	ウ 自由業(開業医、弁護士、茶華道師匠、芸術家など) 4.4
4 勤め (パートタイム) 16.2	→	エ 経営・管理職(会社等の部長級、官公庁の課長級以上) 8.3
5 内職 0.2	→	オ 専門・技術職(研究員、技術者、勤務医、看護師など) 18.8
6 主婦・主夫(勤めていない) 14.5		カ 事務職(事務系会社員・公務員、警察官、駅員など) 24.3
7 学生 0.8		キ 教育職(教諭、保育士など) 6.1
8 無職 16.0		ク 技能・労務職(工場の生産工程従事者、運転士など) 9.8
9 その他 1.8		ケ 販売・サービス職(商店、サービス業などの従業員) 20.5
(無回答 4.0)		(無回答 2.5)

質問は以上です。最後までご協力いただき、ありがとうございました。

同封の返送用封筒で、11月18日(火)までにご投函ください。(切手は不要です。)

なお、インターネットからご回答された方は、調査票の郵送は不要です。

今回の調査でお伺いしたテーマについて、ご意見やご提案がありましたら、お書きください。

ご意見やご提案を希望するテーマの番号に○をつけてください。

- |                           |                     |
|---------------------------|---------------------|
| 1 かながわの文化芸術               | 8 循環器病対策            |
| 2 伝統的工芸品                  | 9 依存症に対する意識         |
| 3 2027年国際園芸博覧会            | 10 かながわの人権          |
| 4 脱炭素・環境                  | 11 配偶者等からの暴力        |
| 5 生物多様性                   | 12 犯罪被害者等への支援       |
| 6 「未病改善」の取組み              | 13 生活に不安や課題がある人への支援 |
| 7 かながわ救急相談センター<br>(#7119) | 14 インクルーシブ教育        |
|                           | 15 かながわの広報          |

下記にその内容をご記載ください。

223人(13.1%)から自由意見が寄せられました。

